

校長室の窓から

あすなろ

さあ！5月7日から学校！！
と張り切っていましたが・・・

テレビや新聞のニュースで知る全国・広島県の状況に一喜一憂する毎日でした。ほんの少し減少傾向かなと喜ぶと翌日にはぐっと上がった数字をみたり・・・まだまだ終息までには時間がかかりそうです。

学校では、地区別分割自由登校や学力補充で登校する子どもたちが、自分で立てた計画にしたがって学習をすすめることを先生たちがサポートしています。その合間には学校中の大掃除をし、何十年間も使わなかったものの整理をしたりしています。先日は福山市のトラックをかりて教頭先生と友滝先生が箕沖まで捨てに行ってくださいました。

また 職員室では3密になってしまうので、それぞれの教室でこれからの授業で使うものの準備をしています。子どもたちの顔を思い浮かべながら、どんな授業をしようか、これを見せたら子どもたちはどんな反応をするだろう？などわくわくしながら教材・教具の作成をしてくださっています。

これからの1か月は いままで以上に長く感じられるかもしれませんが、子どもたちとの再会を心から楽しみに、私たち教職員も「今」を大切に精いっぱいがんばります。

今日、たくさんの家庭学習を渡しました。その多さにびっくり・ポンしている子どももいるかと思いますが、毎日 計画的にすこしずつ進めればできる量にしています。学年によっては一度に提示せず途中に（18日～20日）追加配布をします。ドリル的なものは進むが・・・という声を聞きますが、こんな時だからこそじっくりと取り組めることにチャレンジしてほしいものです。国語・算数という教科の枠をこえた自分の興味・関心・こだわりをもった学習をしてほしいと願っています。（参考になる資料も同封していますのでご覧ください）学習のことで子どもが困っていたら遠慮なく学校までご連絡ください。

また、生きる力の一つとしての「家事力」つまり子どもにとっては「お手伝い」をしっかりとさせてください。火の取り扱いには注意が必要ですが、高学年なら料理の一品・二品くらいはできるようになってほしいですね。また、洗濯機をまわす→干す→とりこむ→たたむまでの一連の作業をまかせるものいいかもしれません。ぜひ、家族の一員としての仕事をさせるようにしてください。

一人暮らしの先生方も今回は帰省せず、「がまん」の生活をすると言います。みんな「がまん」「辛抱」してこの難局をのりこえましょう！！
どうぞ ご家族の皆様のくれぐれもお気を付けくださいね。

皮肉にも本当に気持ちのよい青空が広がっています。5月といえば、若葉の緑も美しく輝き、1年で一番季候のよい時ですが、今年は重苦しい毎日となりそうです。

5月7日学校再開に照準をあて、子どもたちが来たらあれもこれもと心いっぱい計画していましたが、休校の延長が決まりました。様々の行事も見直し、延期・中止も考えざるを得ない事態です。教師生活40数年で経験したことのない毎日に翻弄されながらも、今、子どもたちにしてやれることは何か！を日々一生懸命考えるこのごろです。